

授業科目名	教職入門B（中等）(2100108)		
時間割名	教職入門B（中等）(12101)		
時間割担当	松井典夫		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

「教職入門」は、教員を目指す貴方たちの学びの入口となる科目である。「中学校・高等学校教員に求められる資質・能力とは何か」を学び、大学生活を通してその資質・能力を獲得しようとする自覚を養うことを目的とする。明らかにされた中・高等学校教員としての資質・能力は、受講する貴方たちに即時に求められる。15時間のうちの初めは、具体的なエピソードを通して教員に求められる資質・能力を学ぶ。「教職入門」が、求められる知識・理解を獲得し、貴方たちの自分磨きの羅針盤となることを期待している。

学習の到達目標

学校教育の意義と役割、目標と内容、学習指導計画・教材研究・指導方法と評価の基本について認識を深める。さらに、音声言語、読解、文章作成、語彙などについて指導法の理解を深め、学習指導計画を立てて模擬授業をするなど実践的力をつける。

授業方法・形式

1. 予習は必須である。予告された学習課題に対する自分の意見、理由【根拠】をワークシートに記入して出席する。
2. 自分の意見を全体に発表する。聞き手は、自分の意見よりもすぐれた意見があるかどうかを見極める目的で発表を聴く。
3. 自分がその時間の中で、自分に取り入れるべきすぐれた意見であると考えた意見を、理由と共に発表する。

授業計画

- 第1回 授業の目的、概要 学習ルールとマナー、評価、参考文献の紹介、自己紹介等
- 第2回 教育とは何 教員としてのあり方、教員を目指す学生のあり方
- 第3回 学級経営 学級経営の課題と方法、そこから見える教員としてのあり方、授業力と生徒指導力
- 第4回 教育委員会が求める教員のあり方 教員採用試験、同試験合格者から分析した教員としてのあり方
- 第5回 教員採用試験から見えてくる求められる教員の資質・能力 教育委員会の文書、教員採用試験の面接・場面指導・模擬授業等から分析した教員としてのあり方
- 第6回 教員の仕事 中学校、特別支援学校の教員の一日
- 第7回 学校の組織力 職員会議、校務分掌、学年経営、学校経営、危機管理
- 第8回 教員の身分と服務 教員の服務、身分保障と分限・懲戒処分
- 第9回 教員の問題行動とメンタルヘルス 教職員の不祥事、教員の精神疾患
- 第10回 教員の資質向上と研修 研修について、初任者研修、10年目研修、教員免許講習等
- 第11回 教員養成の歴史 戦前、戦後の教員養成
- 第12回 新しい学習指導要領(1) 生きる力、確かな学力
- 第13回 新しい学習指導要領(2) 習得・活用・探究、指導と評価の一体化、言葉の力、言語活動の充実
- 第14回 教育実習の意義と心得 教育実習の目的、求められる実習生の意欲・態度
- 第15回 まとめ 獲得できた学びと課題をふりかえり、まとめ、交流することによって、中学校教師になる上での自分なりの見通しを持つ。

成績評価の基準

欠席、居眠り、テキスト忘れ、予習ができていない等の行為は減点される。毎回の授業における自主的発表、課題を追究する意欲的姿勢、集団に貢献した行為(40%)学習課題に対する意見の質、すぐれた意見を評価できる力(40%)科目試験(20%)。

準備学習・復習及び授

予習は受講生が受講するための必須要件である。

履修上のアドバイス及

「聞く」講義だけではなく、各人が主体的に思考する場面を設けます。主体的、積極的な参加姿勢が学修成果に大きく結びつきます。

教材・教科書

テキスト：吉田順『荒れには必ずルールがある』学事出版2013.7
中田正浩編著『人間教育を視点にした教職入門』大学教育出版、2014.12

参考書

参考書：梶田観一・加藤明編著『改訂 実践教育評価事典』文溪堂、2010.8
梶田観一『教師力再興 優れた教師に満ち満ちた学校に』明治図書、2010.6
「教職とは？」編集委員会編著『教職とは？ エピソードからみえる教師・学校』教育出版、2012.3